

平成 30 年度 すこやかメールマガジン 第 624 号【ままの音】12 月 13 日配信

毎日新聞（平成 30 年 11 月 18 日）にすてきな詩の一部が紹介されていました。それは、第 22 回「サトウハチロー記念お母さんの詩コンクール」最優秀賞に輝いた北上市立黒沢尻西小学校 2 年 高橋 爽太さんの「ままの音」という詩です。

この詩は「プシュ」よるふとんに入って目をつむると聞こえてくる音という出だしから始まります。この音を聞いた子どもたちは、不思議に思い父にたずねます。すると、父は母が「大人のジュース」を開けた音であると答えます。そして、「ままのごほうびの時間だよ」という父の言葉に、爽太さんは納得し「まま今日もごくろうさま」とまどろんでいきます。読み終わると家族の寝息が聞こえてくるようです。私はなんだか母への思いやりあふれる父子の会話にふとんの温もりまで感じてしまいます。

\*すてきな作品の全文は「サトウハチロー記念お母さんの詩コンクール」ホームページを御覧下さい。（<http://www.okaasan-no-uta.jp/result/22/01.html#02>）他の受賞作品も読むことができます。

幼い子は、音に敏感です。「トン・トン・トン」「何の音？」という遊びがあるように、聞き慣れた音や声に安心し、慣れない音には不安になったり、正体を確かめてホッとしたりします。

「プシュ」という音が「ままのごほうびの時間」の始まりを知らせる合図の音になっているなんて、すてきですね。毎日ががんばっているママたちみんなにごほうびを与えてもらった気分です。

私は、パパが子どもを寝かしつけているところにも感動しました。我が家では、赤ん坊の頃の添い寝はもちろん、小学生になってからも、寝かしつけるのはずっと母親の役目でした。小学生の 3 人の子どもを寝かしつける爽太さんのお父さんは頼りになりますね。

我が息子が、夜玄関から「カチャッ」と音がすると、「パパだー！」と走って行って抱きついていたので懐かしく思い出しました。私の息子にとって「父ちゃんの音」の一つは、玄関を開ける音ではないかと思います。

すこやかメルマガ読者のお子さんたちは、どんな音が「ママの音」「パパの音」になっているでしょうね。忙しい毎日ですが、ちょっと耳をすましてお子さんを観察してみてもいいでしょうか？【Y】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^\_^))

mailto:[kosodatem@pref.iwate.jp](mailto:kosodatem@pref.iwate.jp)

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」  
> すこやかメルマガ

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^\_^)/

\*\*\*\*\*

**【発行】**

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索